

発行日：2023年3月20日 発行者：連合ジェンダー平等・多様性推進局

連合鳥取 3.8 国際女性デー アピール行動・学習会を実施

【3.8 国際女性デー アピール行動】

連合鳥取女性委員会は、2023年3月1日（水）に、東部・中部・西部地域で行われた「2023 春闘勝利総決起集会」と連携して、女性委員会は「3.8 国際女性デー アピール（案）」を読み上げ、参加者の皆さんで採択しました。



▲東部：西尾幹事
（J P 労組）



▲中部：川本副委員長
（フード連合）



▲西部：長谷川副委員長
（電力総連）

【3.8 国際女性デー 学習会】

2023年3月4日（土）には、倉吉体育文化会館にて「3.8 国際女性デー 学習会」を行い、88名の参加者が集いました。

◎主催者挨拶（連合鳥取女性委員会 小谷くみこ委員長）

県内各地より「3.8 国際女性デー 学習会」にお集まりくださり、ありがとうございます。

本日は日々様々な場面で私たちの生活に密接している「政治」についてお話しいただくため、県内で活躍されている女性議員の皆さまにお越しいただきました。

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻開始から1年が経過し、多くの方が亡くなり、傷つき、当たり前の日常が失われる中、経済的・身体的に弱い立場である女性や子ども達が戦火の中を必死に生きています。

遠く離れた日本でも物価上昇などの影響が、立場の弱い女性や子ども達の生活に大きな負担となりのしかかっています。

この学習会をきっかけに皆さまが「政治」に興味を持ち、積極的に関わることで、働く女性が能力を十分に発揮し適正に評価される社会が実現することを願います。



▲挨拶する連合鳥取女性委員会の小谷委員長

【3.8 国際女性デー 学習会に参加して】 連合鳥取女性委員会桑村由香里幹事（全労金）

●「未来につながる政治～強く、優しく、しなやかに～」と題して、米子市議会議員の伊藤ひろえさんにご講演いただき、政治が身近に感じられるような、市議となるまで歩んできた道のりや経験、これからさらにめざす夢などをお話いただきました。

政治はくらしそのものであり、一人一人が声をあげていく必要があります。自らの子育ての奮闘もさながら周りからの信頼や期待も高く、立候補されるまでの様々な思いと家庭や友人・親族との関係など壮絶な人生を笑顔で語ってくださいました。当選後には公約に向かって強い意志を持ち、中学校給食の実現、そして議員活動をしながら様々な支援・活動を行い、その現場での体験や声を政策に反映されています。

未来を担う子ども達のため「里親ファミリーホーム」の計画も令和5年4月からはじめられそうだ、と今も突き進んでいく伊藤市議会議員の志と信念に感銘を受けました。



▲講演する米子市議会議員の伊藤ひろえさん



▲トークセッションの様子

●トークセッションでは「わたしと政治のかかわり」をテーマに、尾崎かおる鳥取県議会議員（進行役）、浜田妙子鳥取県議会議員、西村みつこ鳥取県議会議員、伊藤ひろえ米子市議会議員、菘原美百合北栄町議会議員、坂根まさよ鳥取市議会議員と小谷委員長がパネリストとなり、投げかけた質問に対し忌憚のない意見で盛り上げてくださいました。

- ① どうして議員になろうと思ったか
- ② 選挙って？
- ③ 出馬して（議員となって）よかったと思えること
- ④ なぜ女性議員は増えないのか？

それぞれに思いのこもったお答えと包み隠さずの実態や経験を教えてください、学習会にご参加いただいた方は親しみを感じられたのではないかと思います。

「私たち、一人一人の声は豊かなまちづくりをするために必要なのだな、政治は身近なものにとらえて小さなことからでも変えていけたらな」という思いが高まりました。



▲アピール提案する福田幹事（全国農団労）



▲参加者全員でのアピール行動

【情報提供】 連合鳥取 副事務局長 寺田真里